

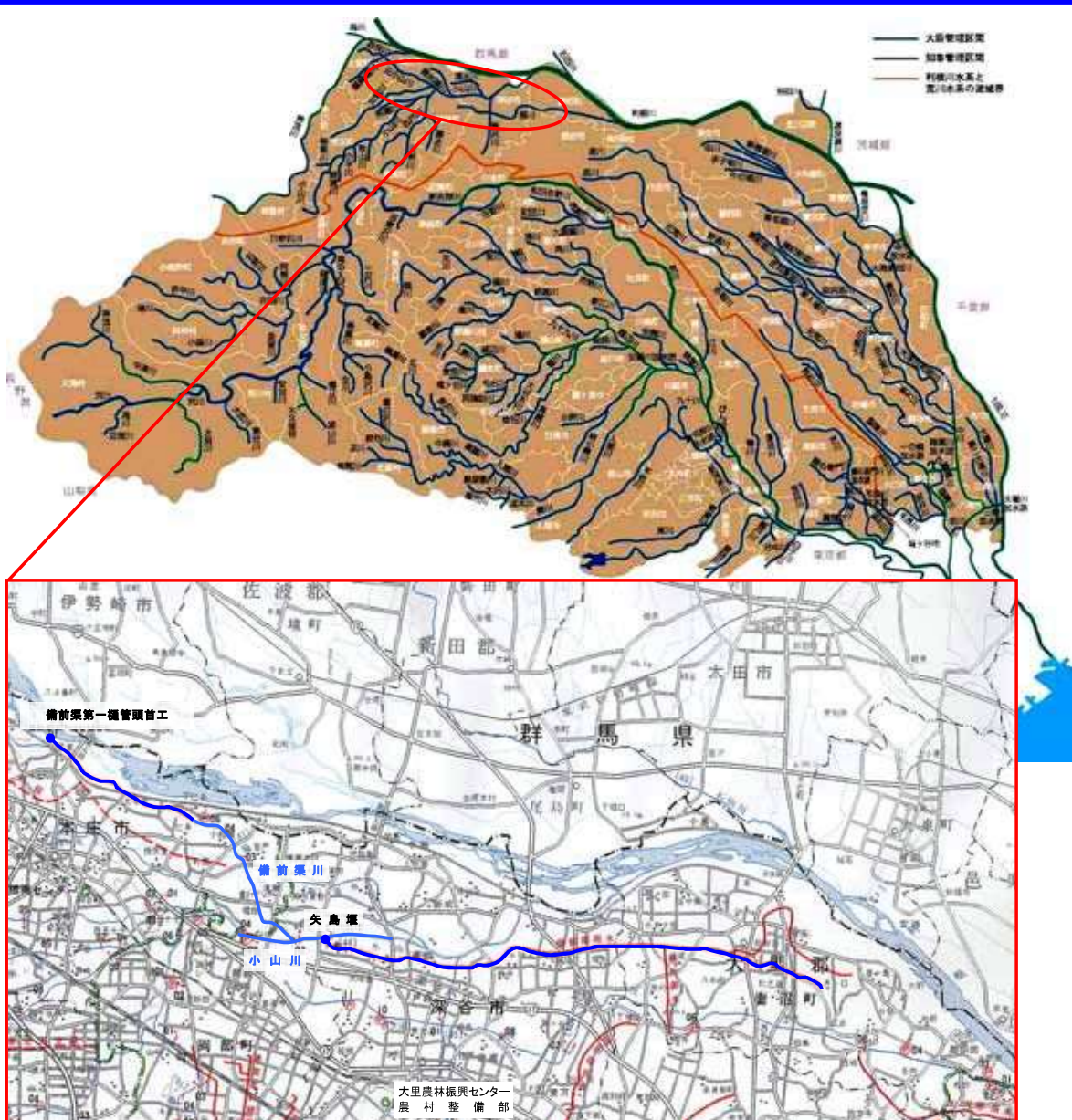
【 備 前 渠 用 水 】

管 理 者	備前渠用水路土地改良区	受益地域	本庄市・深谷市・熊谷市（旧妻沼町）
-------	-------------	------	-------------------

用 水 の 変 遷

慶長9年(1604)関東郡代伊奈備前守忠次により開削され、当時の面影を残す県内最古の大規模な用水である。当時の用水は、榛沢郡、幡羅郡、埼玉郡、忍領、羽生領等の利根川沿いのかんがい用水として利用されていたが、万治2年(1659)に福川を境に上下流の用水が分かれ、上流部が備前渠用水路と言われるようになった。天明3年(1783)の浅間山噴火や利根川、烏川の流路変動等により、取水口の締切や位置を変更してきたが、慶応2年(1866)の矢島堰新設(小山川)、昭和5年(1930)の利根川堤外導水路新設による取水口の移動(現在の位置)をし、幹線用水路、分水堰においては、県営用排水幹線改良事業備前渠用水路地区(S14～21)により改修工事が行われた。その後再び利根川の流路が変動した事により取水困難となったため、県営かんがい排水事業備前渠地区の実施(S34～40)により取入樋門、第3樋門、矢島堰、導水路等の改修を行い、現在の用水形態が確立された。昭和51年からは護岸補修工事等を行ってきたが、県営事業化に向けて平成10年度より調査計画を行い、平成16年度から着工予定である。

用 水 位 置 図



用水施設写真（その１）

備前渠第一樋管頭首工（利根川取水口）



本庄市山王堂地先

取入水門



本庄市山王堂地先

第３樋門



本庄市久々宇地先

備前渠用水路



本庄市仁手地先

橋南堰 小山川との合流



深谷市矢島地先

矢島堰



深谷市矢島地先

用水施設写真（その2）

矢島樋門



深谷市矢島地先

備前渠用水路



深谷市矢島地先

十二祖堰



深谷市内ヶ島地先

備前渠用水路



深谷市内ヶ島地先

鷺宮堰



深谷市高畑地先

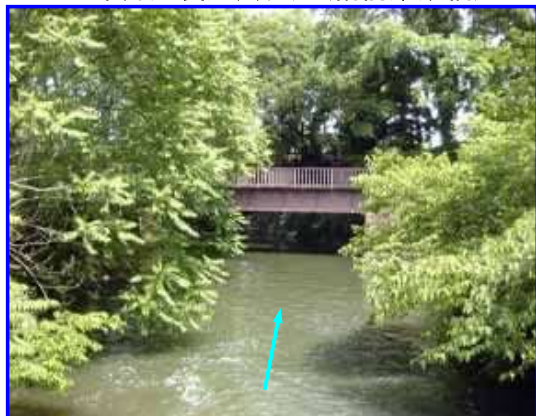
唐沢川伏越工（上流部）



深谷市上敷免地先

用水施設写真（その3）

日本煉瓦製造(株)付近(備前渠鉄橋)



深谷市上敷免地先

レンガ造アーチ橋(新井用水)



深谷市上敷免地先

備前渠用水路



深谷市江原地先



熊谷市（旧妻沼町）永井太田地先

備前渠用水路



熊谷市（旧妻沼町）弥藤吾地先

備前渠用水路最末端



熊谷市（旧妻沼町）ハツ口地先